

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.78

第42回 MARS 日立総会報告

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

平成 30 年(2018 年)4 月 21 日(土)~22 日(日)に第 42 回日本医師アマチュア無線連盟日立総会が天谷龍夫先生 JI1VAH 局の周到なご準備の下、盛会裡に終了することが出来たことを御報告申し上げます。

茨城県日立市内中心部にあるホテル テラスザ スクエア日立にて 4 月 21 日(土)午後 5 時に開催されました。MARS 日立総会の準備にご尽力頂いた JI1VAH 局天谷龍夫先生によるこころ温まる歓迎の挨拶がありました。1 年間に亘り周到なご準備を頂いたことに心から感謝申し上げます。ついで MARS 会長の小生が前回の岩堀先生の御尽力で盛会理に修了した MARS 金沢総会で話題になった大災害支援等を振り返り、諸先輩の御指導のもとに、今後の MARS の運営に努めて参りたい旨の挨拶を申し上げます。

昨今、多発する大災害への対応を踏まえて我々のアマチュア無線の趣味と医師の資格と同時に持つ立場の方々が集まったこの組織としての在り方が問われることが言われ、また、災害や原発への安全性の確保が大切なことを宣させて頂きました。しかし現実的にはこれらの災

害対応を表に出せないのが行政サイドから見た今の情勢のようです。

総会議長の選出に当たり、JH7QFA 局渡辺孝志先生が推薦を受けて、総会議長となり議事の議論が進められました。まず、平成 29 年度庶務報告として JL1BGP 局井上文正先生から MARS 会員の現状ならびに新入会員の状況の報告がありました。

次いで平成 29 年度の活動報告にうつりました。まず MD ネットについては 3.5MHz の一年間の活動報告が詳細に報告されました。とても安定したネット運用がなされていることが報告され、JA1KXT 局相田信男先生の Key 局としての立場から詳しい報告がなされました。また 7 MHz の MD ネットの運用状況は JH7QFA 局渡辺孝志先生から詳しい内容を合わせて報告されました。全般的にはコンディションの悪いことが多く特に昨年 11 月~12 月頃から今年 2 月頃までの間のコンディションが極めて悪く、MD ネットの運用そのものが不可能な日が認められた困難な状況が報告されました。次に MARS ニュースの件は 1 回のみ発行に留まっているとの報告がありました。さらに JH3TCC

局家田勝幸先生からの MARS ホームページの内容とアクセス数等の結果が報告され、さらにアワードについては JI1VAH 局天谷龍夫先生から報告がありました。アワードの抽選は懇親会にて行うことと致しました。

次いで平成29年度会計決算報告と監査報告が JL1BGP 局井上文正先生によりなされ、さらに監事の JA1FF 局国府田守雄先生からなされて決算は別表で示したように承認されました。次いで議事に入り、平成 30 年度活動計画は会長の小生から別表の如く提案されて承認を受けることが出来ました。また役割分担について小生から「会計についての実務担当」を井上文正先生から JF3MTM 局柴田敏弥先生に引き継ぐことが提案されて、承認を得ることができました。またこれまで議論されてきた 8J2M 申請について、JA3ASU 局狭山信矩先生から文書にて注意点が寄せられました。出来るだけ日本医学会総会(中部)での記念局の開設に向けて準備をすることとしました。2 エリア、9 エリア、0 エリアでの 8J2M, 8J9M, 8J0M のコールサインの獲得を目指すことと致しました。平成 30 年度予算(案)が JL1BGP 局井上文正先生から提案されてそれが承認されました。役員改選については会長から役員改選(案)が提示されて提案のように承認されました。

これらの議事を終えて、MARS 日立総会の閉会の宣言がなされました。次いで特別講演会開催のために準備のため休憩を頂いた後に、日本医師会常任理事の鈴木邦彦先生を講師として「世界における日本の医療」と題して、講演会を持つことが出来ました。この講師招聘に当たっては天谷龍夫先生のご尽力を得てご多忙な鈴木先生の講演会を開催することが出来ました。

鈴木邦彦先生は 2009 年から 2015 年まで 3 期 6 年にわたり中央社会保険医療協議会委員を歴任され 2010 年から日本医師会常任理事を務められ介護保険・福祉(認知症を含む)、薬事、有床診療所等の課題に係る社会保障審議会介護保険給付費分科会委員を歴任されておられます。長くまた数回に亘る欧米の医療視察の経験から、英国、フランス、オランダ、北欧諸国の医療制度改革等の現状を紹介されながら、日本における地域医療制度の課題を分かり易く説明頂き、今後の日本の医療の在り方が東南アジアの諸国から注目されている現状が知らされ、これからの地域医療の連携体制については垂直型から水平型への転換が必要であるのご指摘等、病院勤務医にとってもかかりつけ医にとっても極めて有意義なご講演を拝聴することが出来て感謝でありました。

講演会終了後1階ロビーにて記念撮影を行い、2階にて夕食懇親会になりました。素晴らしいメニューの豪華な料理を満喫させていただきました。懇親会の合間の時間を利用して JI1VAH 局天谷龍夫先生による相互運用協定によるニュージーランドからの運用と、JH3AEF 局東條純一先生からブータンでの現地エクスペディション活動の実際経験されたことを分かりやすくスライド上映しながら説明報告が行われ、貴重な光景と東條純一先生の活発な国際活動に感激を憶えました。

21 時過ぎから1階にて二次会を行いそれぞれ話題につきないひと時を過ごすことが出来ました。それぞれの一年ぶりでの和やかな交流の場を設定して頂いたことに感謝でした。

翌朝それぞれ朝食の後、8時40分発のバスにてエクスカッションに出発となりました。9時頃に久慈浜海岸、日立灯台を遠望見学して水

戸市を目指しました。

何といたっても歴史の景勝地偕楽園の訪問が圧巻でした。偕楽園の園内の御案内を頂きながら、孟宗竹林、東西梅林、大杉森等、詳しくこれらの意味合いを説明頂きながら、偕楽園の素晴らしい広大な公園の素晴らしさを学びながら、水戸藩第九代藩主徳川斉昭公の万物の健全育成の原理に基づいて、心身の調和を図り修養に勤める目的とその主旨が伝わってくるような思いが致しました。「好文亭」の見学では水戸藩主が時々休まれた場所や薩摩藩島津斉彬公が水戸徳川斉昭公に送られた太い竹が応接の間に記念に加えられており、幕末時代の複雑な歴史の人物交流の実態がこの好文亭に残されている貴重な史実を実感することが出来ました。

藩政改革の重要施策として開設された弘道館は藩士とその子弟が学んだ総合大学のような藩校であり、多くの明治維新前後に活動した

有名な吉田松陰の直筆の書等も展示されており、幕末時代の複雑な世相の中で特に徳川斉昭公の意図するところが深く伝わってくる感じが致しました。

近隣の「とうすい庵」にて四百年の輝「黄門料理」を頂き素晴らしい郷土色豊かな料理を楽しむことが出来たことはとても有難いことでありました。今回第42回 MARS 日立総会が盛会裏に終了することが出来ましたことは、茨城県日立市在住の JI1VAH 局天谷龍夫先生の行き届いた御配慮と御準備の下におかげさまで意義深い MARS 総会になりました。とても豊かな交流と複雑な幕末歴史の学びの時を与えられたことに、重ねて感謝申し上げたいと存じます。楽しい MARS 総会を今後の活動に繋ぐことが出来ることを期待しつつ第42回 MARS 日立総会の報告に替える次第であります。各局の御協力に心から感謝申し上げます。

第43回日本医師アマチュア無線連盟長野総会のご案内

日時:2019年5月11日(土)

受付 午後4時から、総会 午後5時から、懇親会 午後7時から

場所:上田東急REIホテル

長野県上田市天神4-24-1

電話 0268-24-0109

JR北陸新幹線上田駅温泉口出口徒歩1分

高速道路、上信越道 上田菅平インターより5分

エクスカーショ

日時:2019年5月12日(日)

出発 午前9時00分

バスにて真田一族の歴史探訪

解散 午後3時00分頃

JR北陸新幹線上田駅

MARS 会員都道府県別分類

J A 1 16局

東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY
 JK1AIN JL1BGP JP1HIS
 神奈川県 JH1IAA JE1TNL
 埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JL1LRJ
 茨城県 JI1VAH
 群馬県 JA1KXT JR1SJD
 千葉県 JM1BIX
 栃木県 JO1RTV
 山梨県 なし

J A 2 8局

愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2AXV
 JR2GSI
 静岡県 なし
 岐阜県 JA2MTE JR2FGQ JR2GPR
 JS2BBE
 三重県 なし

J A 3 27局

京都府 JA3ASU JH3SQM JH3SQN
 JR3HFS JR3JJQ JF3BIE
 JF3ITN
 大阪府 JA3BQT JA3LDH JH3AEF
 JF3EKP JF3MTM JL3SIK
 JM3FUW JO3VKD
 滋賀県 JF3PMG
 兵庫県 JA3XED JH3GOB JH3QMF
 JO3RUL
 奈良県 なし
 和歌山県 JH3TCC JF3JON JI3CIN
 JJ3KUL JM3BCQ JN3ASW
 JP3NGG

J A 4 3局

岡山県 JE4EWM(exJA5LDZ)
 広島県 JH4DPL JH4UYB
 鳥取県 なし
 島根県 なし
 山口県 なし

J A 5 2局

香川県 なし
 徳島県 JA5GPJ
 愛媛県 なし
 高知県 JH5KAJ

J A 6 7局

福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM
 JE6IUM JG6DAO
 大分県 なし
 熊本県 JE6MRG
 宮崎県 なし
 鹿児島県 なし
 佐賀県 JR6EZJ
 長崎県 なし
 沖縄県 なし

J A 7 16局

青森県 なし
 秋田県 なし
 岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7HVF
 JH7IIR JH7OLB JH7XGQ
 山形県 なし
 宮城県 JA7DOR JA7EVM JA7WTH
 JH7CAI JH7EQW JH7QFA
 JP7DMV
 福島県 JA7NME JO7XVL JP7FSO

J A 8 1局

北海道 JA8JDQ

J A 9 3局

富山県 なし
 石川県 JK1QLR
 福井県 JE9RWF JR9FQO

J A 0 3局

新潟県 JH0LME JR0NQU JR0QWW
 長野県 なし

_____は他エリアからの移動局
計86局 (2018年12月現在)

第42回日本医師アマチュア無線連盟日立総会

J1VAH 天谷 龍夫(茨城県)

日時 平成30年4月21日
会場 ホテル テラス ザ スクエア日立
受付 午後4時30分から
総会 午後5時から

平成30年4月21日、日本医師アマチュア無線連盟総会が茨城県日立市で開催されました。茨城県での開催は、30数年前、JA1KF石田OMがご健在の頃、水戸市で開催されたことがありましたが、県北の日立市で行われるのは今回が初めてです。

(準備)・茨城県のMARS会員は以前には複数いましたが、年々減少し今は当局1局になってしまいました。昨年、金沢での第41回MARS総会の際、JA7AOM及川OMより、来年の総会は、是非茨城県でと依頼されました。茨城県は、全国人気度5年連続最下位で東京に近い割には、田舎の何もない県です。言葉も尻上がりで訛っています。特に県北は、観光施設もなく震災以後人口減少が著しく、将来消滅するかもしれない都市候補に入っています。宿泊施設も少なく、総会の日程に合わせてホテルが確保できるかも心配でした。第一候補の4月14日は、大きなスポーツイベントがあるらしく、ホテルの確保はできないようでした。幸い第2候補の4月21日は、ホテルを予約することができました。つぎは学術講演会の講師の問題です。いろいろ考えていたところ、及川OMから、日本医師会常任理事の鈴木邦彦先生にご講演お願いできないかとの申し出がありました。及川先生

は、以前学会活動を通じて鈴木邦彦先生とお知り合いで、鈴木邦彦先生が理事長を務める大規模な病院、老健施設を見学にこられたことが在るとの事でぜひ講師にお願いできないかとの事でした。鈴木邦彦先生は、実は2歳違いの従兄弟で物心つく前から知っていますし、茨城県医師会でも一緒に仕事していました。そんなわけで早速電話し、快く講師を引き受けてくださいました。テーマは地域医療の話を考えていましたが、鈴木先生は、日本医師会の理事になる前から、ライフワークとして世界各地の医療制度を見学し、莫大な知識をお持ちの先生です。ここは意外と知られていない諸外国の医療制度についてお話できないかお願いしました。

総会の場所、ホテルの予約、講師の依頼が完了し、総会のイメージが出来上がってきました。次は、日曜日のエクスカージョンの問題です。日立市は、日立鉱山、日立製作所などの工業で発展した都市ですので、有名な観光施設、文化施設、歴史遺構などありません。41回MARS総会は金沢でしたので、歴史、文化、料理ともにすばらしいものでした。北茨城市まで足を延ばせば、横山大観、岡倉天心の五浦美術館があり、あんこう鍋もありますが、あんこう鍋の旬は3月までですので、

4月は残念ながら水揚げがありません。日立は海と山に囲まれた都市です。ここは、日立では海の眺めを堪能してもらって、その後水戸方面に行くこととしました。去年は、金沢の兼六園でしたので、日本3大庭園である偕楽園を散策してもらうようにしました。昼食は、老舗の鰻割烹も考えたのですが、鰻のフルコースは昼食にしては重いので、他を検討しました。偕楽園の近くに、水戸光圀公の医食同源の思想を受け継ぐレストランがあり、案内を見ると面白そうなのでそこに決めました。

偕楽園の成り立ちを理解するためには、幕末の水戸藩を理解するのが一番です。水戸藩の藩校であった弘道館もセットで回ると理解がいつそう深まりますので、散策は偕楽園、見学は弘道館と、その両方を見てもらえるようにしました。

11月にMARS会員全員に総会、エクスカーションの出欠の葉書を送り、年末には出席者のお名前がわかりました。エクスカーションでは、現場の案内のままに見学するよりさらに深く幕末の水戸藩を理解してもらうために、水戸藩士が起こした事件の歴史小説、吉村昭著「桜田門外ノ変」の文庫本上下2冊を出席者全員にお送りしました。急に2冊も本が贈られてきて驚いたかもしれません。あの事件の後わずか8年足らずで明治維新を迎えた歴史上、日本の大きな転換点になった事件が「桜田門外ノ変」でした。当時の時代背景がわかると偕楽園、弘道館の見えるものも変わってきます。そんな準備をしているうちに、あっという間に4月になりました。

(当日)・・・午後4時30分から受付開始です。各局とは1年ぶりの再会です。少し早めに日立に来て市内を散策されたり、駅舎にある海

が展望できる喫茶室でお茶を飲まれた先生も居られたようです。午後5時MARS総会が開始されました。

総会式次第(敬称略)

日立総会開会挨拶JI1VAH天谷龍夫(茨城県)

MARS会長挨拶JA7AOM及川忠人(岩手県)

議長選出 JH7QFA 渡辺孝志氏を参加会員からの推薦により選出

報告事項

平成29年度庶務報告 JL1BGP 井上文正(東京都)

新入会員の先生方

JR2GPR 林 真也 先生

JE6MRG 岸 泰至 先生

平成29年度事業報告

MD ネット 3.5M JA1KXT 相田信男(群馬県)

毎週水曜日 06:00~06:30JST

3.565MHz±3kHz (資料1)

MD ネット 7M JH7QFA 渡辺孝志(宮城県)

7MHz 帯の MD ネットの年間の交信状況を別紙(資料2)の如く、報告した。

毎週水曜日 06:30~07:00JST 7.150MHz

MARS NEWS JF3JON 田中憲児(和歌山県)

代 JH3TCC家田勝幸

MARS NEWS No77 号を発刊した。

MARS HOME PAGE JH3TCC 家田勝幸(和歌山県)

ホームページの閲覧状況が報告された。(資料3)

MARSアワードJI1VAH天谷龍夫

昨年の金沢総会で報告して以来、今年度は7枚のMARSアワードを発行しました。

アワード印刷用にB4印刷ができるプリンターを購入しましたので、外部委託することなくスムーズに発行することができるようになりました。

MARSアワード I

A賞 申請なし

B賞 特記

B-189 JH4EZE 黒崎 隆

B-190 JH8MYB 原田 進 7MHz,
SSB,AJD

B-191 JJ5ETY 向居 拓真

MARSアワード II

A賞

A-15 JH8MYB 原田 進

A-16 JJ7GCL 関 一

B賞

B-16 JF2SKV 松下 久

B-17 JJ7GCL 関 一

年間賞 MARSアワード I の申請者は3名

JH4EZE JH8MYB JJ5ETY

総会で抽選の結果 年間賞はJH8MYBに決定

収支報告

収入

前年度繰越	63円
申請手数料	2,400円(800×3)
計	2,463円

支出

送料	1,450円(290×5)
B4クリアファイル	675円
計	2,125円

次年度へ繰越 2,463-2,125=275円

MARSアワード年間賞 YAESU VX-3
22,950円+送料950円=23,900円

年間賞に関しては、本部決済です

昨年まで、205円で送れていたものが、料金改正になり送料単価が増えました。申請手数料が入るのは、MARSアワード I のみなので、MARSアワード II の申請が増えると、賄いきれなくなります。

来年は、ボーナスポイント75点の8J2Mの運用もあるとのことで、さらにMARSアワード II の申請が増えるものと思われます。

次にJL1BGP井上先生から決算報告及びJA1FF国府田先生から監査報告がなされました。

平成29年度 会計報告 JL1BGP 井上文正

収入の部	予算案	決算
繰越金	1,611,245	1,611,245
内訳 郵便貯金	1,602,407	1,602,407
現金	8,838	8,838
会費収入	500,000	447,000
その他 利子	50	4
収入合計(A)	2,111,295	2,058,249

支出の部	予算案	決算
MARSニュース	150,000	67,392
MARSアワード副賞	30,000	23,280
ホームページ管理費	120,000	120,000
総会助成金	100,000	100,000
総会講師謝礼	0	100,000
事務員謝礼	60,000	60,000
送料,通信費	30,000	3,020
通常はがき(83枚)		5,146
慶弔費	20,000	0
事務用品費	5,000	0
電波利用税		1,500
雑費	5,000	0
支出合計(B)	520,000	480,338

(A)-(B)=次年度繰越額	1,591,295	1,577,911
内訳 郵便貯金		1,572,729
現金		5,182

会計監査報告

帳簿、通帳、領収書等を厳正に確認の結果、会計は適正に運用されていることを確認しました。

平成30年4月21日 監事 JA1FF 国府田 守男

次いで議事に入り JA7AOM 及川先生より平成30年度活動計画案と役割分担案の説明があり審議の結果承認されました。

協議事項

平成30年度 MARS 活動計画案 JA7AOM 及川忠人 承認

- 1) MD ネットの充実を図り参加局の拡大を図る
- 2) MARS News の充実を図る
- 3) MARS アワードを継続する
- 4) MARS Home Page の充実を図る
- 5) 局地災害時の MARS network の対応

とその具体策を検討する

- 6) 若い世代の MARS 会員新入会の支援活動を進める
- 7) 次年度 8J2M/n 日本医学会総会記念局 およびクラブ局 JM1ZZM の活動の在り方を検討し、これらの諸活動の継続を図る
- 8) 福島原発、多発する局地災害等に学び、MARS の在り方を検討する
- 9) 各地域および相互活動守備範囲に於ける MD-Net の緊急時の在り方を、多面的に種々の IT 化等を踏まえて検討吟味する

- 10) その他
各役割分担について
8J2M運用について JH3AEF東條純一
(大阪府)

平成30年度～31年度 役員改選案

JA7AOM 及川忠人 承認

役職	コールサイン	氏名
名誉会長	JA1FF	国府田 守雄
名誉会長	JH3AEF	東條 純一
監事	JA1FF	国府田 守雄
監事	JH3GOB	稲見 修
会長	JA7AOM	及川 忠人
副会長	JL1BGP	井上 文正

副会長	JA1KXT	相田 信男
理事	JH1VAH	天谷 龍夫
理事	JA3ASU	狹山 信矩
理事	JH3TCC	家田 勝幸
理事	JF3JON	田中 憲児
理事	JF3MTM	柴田 敏弥
理事	JH6IBM	石井 文理
理事	JH7QFA	渡辺 孝志
理事	JH7OLB	岩動 孝
理事	JP7FSO	高瀬 信弥
理事	JH0LME	姉崎 静記

最後にJL1BGP井上先生により平成30年度
予算案が説明され、承認されました。

平成30年度予算案 JL1BGP 井上文正 承認

収入の部		支出の部	
前年度からの繰越金	1,577,911	MARSニュース	100,000
郵便貯金	1,572,729	MARSアワード	30,000
現金	5,182	ホームページ管理費	120,000
会費収入	500,000	総会助成金	100,000
その他 利子	5	事務員謝礼	60,000
合計(A)	2,077,916	送料・通信費	10,000
		慶弔費	20,000
		事務用品費	3,000
		雑費	2,000
		合計(B)	445,000

次年度への繰越金(A) - (B) = 1,632,916

閉会

事務局および会計の担当が、今年度よりJF3MTM柴田敏弥先生に変わりました。

新 MARS 事務局 〒596-0821 大阪府岸和田市小松里 928-1 久米田外科整形外科病院内

電話072-443-1891(呼び出し) FAX072-443-2238

E-mail jf3mtm_1004@yahoo.co.jp

資料1

2017年度 MARS 80m ネット 参加状況

rpted by JA1KXT

	stns.	other data		stns.	other data
2017年			10月4日	11	ひどいハリハリというノイズ。KXT:500WIにQRO(の要)。以後3565
4月5日	14	AEF:トバノド JT85勉強中。LME:RTTY始めた。各地桜満開。	10月11日	14	LME:新米が出た。FSO:福島の高葉は来週見ごろに。
4月12日	13	QFA:やっと桜咲いた。LRJ:埼玉狭山桜が咲いた！(3562QRV)	10月18日	14	バンド静か、FB Condx。全国一巡が楽。冬condx開始か？
4月19日	13	週末にMARS総会 in 金沢 QFA:昨日CADを働ぶ会。	10月25日	12	23日台風21号和歌山に大被害。AOMがAEFIに属く。
4月26日	11	(来年は茨城でのMARS総会とアナウンス)	11月1日	12	(再び3568に)
5月3日	8	GWにつき参加局↓	11月8日	12	(3565に戻る) NG Condx→0609JSTに突如開ける。
5月10日	13	AEF:ブータン帰リ、MARS-AWD所持のVE2JCWと会った。	11月15日	11	先週と打って変わってFB Condx。
5月17日	11	(来年の総会日程 1st announce) / 先週以来暫く 3568にQRV	11月22日	14	KXT:昨日初雪、初積雪。 → (早かった冬の始まり)
5月24日	14	LME:Ant修理終わった。雪形が見えた。	11月29日	15	JA6BMB久しぶりのチェックイン。
5月31日	13	前日暑かったがCondx down →KXT:500WIにQRO(の必要)。	12月6日	12	vy GRN! →ラウトできず、KXT(MC)と各局毎の往復。
6月7日	11		12月13日	12	FSO:本格的雪。
6月14日	11	LME:JE0BWHIにアイルランドした。MD netに宜しくとQSP。	12月20日	12	1エリアのローカルスキップで開始。ネットの最後まで一筆書き不可。
6月21日	11	夏型condx。VAH:先週末AAtest=badCondx。	12月27日	13	AEF:7JY,4Xへ、と。LRJ:イフル↑。LME:風強い、寒さ↑。
6月28日	13	年金の話、昔話で盛り上がる。	2018年		
7月5日	13	(苦しい、全国一巡であった)	1月3日	7	GOB/3。 KXT:500WIにQRO(の必要)。
7月12日	12	LRJ/0。	1月10日	10	NG Condx → KXT:500WIにQRO(の必要)。
7月19日	10	雪の話盛ん。	1月17日	11	poor condx
7月26日	10	梅雨明け宣言後に各地大雨。	1月24日	11	昨日KXTでは20~30cmの積雪。ハリハリというノイズ。
8月2日	11	昨夜2時間関東地方地震。	1月31日	9	(大晦日)
8月9日	13	台風5号一過。	2月7日	10	ころころと変化のcondx。当初1エリア内のQSB激しい。3-7は59。
8月16日	11	毎日雨の異常気象。QFA:トマト全滅。	2月14日	9	GRNあるもFB condx。
8月23日	13	軍事訓練の影響か？ → ひどいノイズとCW(暗号)のQRM。	2月21日	10	ブルブルというノイズ → NBで消せる。
8月30日	10	ゴーストとレーダーノイズ。	2月28日	11	バンドクリアー。FB condx、時にハリハリとノイズ。
9月6日	12	上記ノイズおとなしめに。	3月7日	13	LRJから総会欠席のQSP(腹痛中)
9月13日	11	bandクリアーに、しかし混んでいる。FB Condx。(3571にQRV)	3月14日	11	VAH:休み
9月20日	12	先週日曜日台風18号通過。(3568に戻る)	3月21日	8	(祭日)
9月27日	13	当初ハリハリというQRN。各局の番号アップ。秋だ！	3月28日	12	VAH:DP上がった。ソーラーパネルにて100W運用。

*参加局:JA1KXT, JR1CDJ, JR1SJD, JI1VAH, JL1LRJ, JH3AEF, JH3GOB, JF3MTM, JA6BMB, JA7AOM, JH7QFA, JP7FSO, JE9RWF, JH0LME, JR0NQU

*80mネット:毎週水曜0600~0630JST。実は0545にはJI1VAH+JR1SJD+JA1KXTがQRV。Freq = 3565±3KHz (QRMはまず上に)。予想外にできます。pseQRV !!

日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に41年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

1) 総会と懇親会

毎年4月の土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。(平成31年は5月11日に長野県上田市において開催予定)

2) 毎水曜日の朝、3.565MHz(06:00~06:30)及び 7.150MHz(06:30~07:00)付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を毎年発行している。

4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワードIIを発行している。

5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) 日本医学会総会記念局(8JnM)を、医学会総会開催年に設置・運用している。

7) MARS のホームページを開設している。

URLは <http://www.jmars.jp/>

8) MARS メーリングリストを開設している。

加入申請は、jh3tcc@jarl.com まで。

事務局: 〒596-0821 岸和田市小松里 928-1

久米田外科整形外科病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 072-443-1891 (呼び出し)

F A X 072-443-2238

E-mail jf3mtm_1004@yahoo.co.jp

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法 : MARS ホームページの TOP ページから入会申込書入手しご記入の上、事務局 まで E-mail にてお送りください。

会長 及川忠人(JA7AOM)

資料2

日本医師アマチュア無線連盟

第42回MARS総会（日立市）

30. 4. 21~4. 22

7M (40m) ロールコール

29. 4. 26、~30. 4. 18、

局名	コンタクト回数
JA1FF	13
JA1KXT	1
JR1CDJ	15
JL1LRJ	13
J11VAH	36
JH2QBQ	15
JH3AEF	34
JH3GOB	36
JH3TCC	25
JF3JON	2
JA6BMB	11
JE6EZJ	35
JA7AOM	27
JH7QFA	41
JP7FSO	28
JE9RWF	33
JH0NQU	29

以上 17局

今年の7Mは太陽の黒点ゼロの日が続き近年にない最悪のコンディションでした。

パワーを入れても電波は宇宙の彼方に消えて行くだけで11月末からは全くコンタクト出来ない日が11日も。

全国的にコンタクト出来たのは1.2回程度、何時もの朝の時間帯だけで無くてすべ



での時間帯でそんな感じ。

それでもローカルスキップの中AEFさんに常時応援を頂きました。QBQさん秋からは6のEZJさんには毎週大変お世話になっております。またBMBさんにもコンタクト回数ですが当局がQRTした後でのQRVはコンタクトの回数をカウントしておりません、また多少の聞き逃しも有る様でその辺はあくまでも参考数字として。

QFAはKXTさんの担当で北海道千歳市での総会の年の一月（11年くらいになりますか）からのキーステーションをサイレントキーになられたJR2IZO OMさんからAEFさんと引き継いでおりますが昨年4月に一回QRTの他はお休みしておりません。今年も何時もの時間帯、7150付近、お空が賑やかになる事を期待しております。

30. 4. 18.

MARS 7Mキーステーション
JH7QFA（渡辺孝志）記

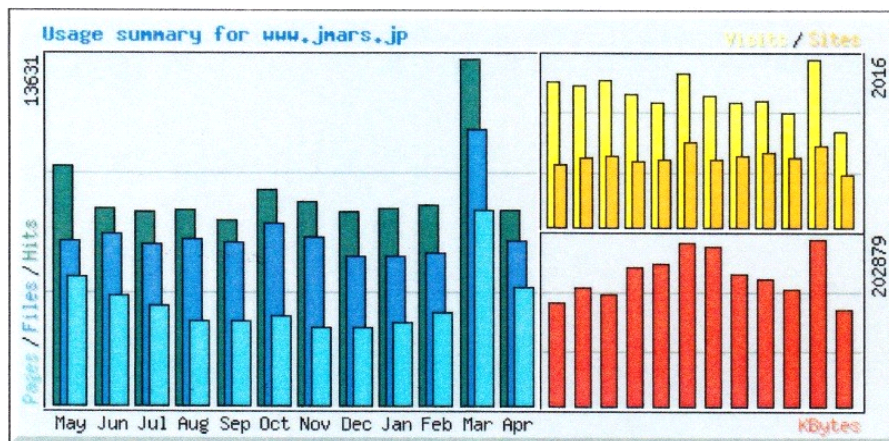


資料3

Access report by Webalizer for www.jmars.jp

月の統計

作成日時 19-Apr-2018 01:27 JST



月の統計										
月	一日あたりの平均					月合計				
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
Apr 2018	405	342	245	59	635	117982	1132	4664	6508	7702
Mar 2018	439	349	248	65	983	202879	2016	7703	10845	13631
Feb 2018	280	215	129	48	831	142609	1366	3638	6021	7862
Jan 2018	249	189	104	49	888	153903	1519	3226	5861	7737
Dec 2017	245	189	97	48	862	160965	1491	3036	5876	7598
Nov 2017	267	221	102	52	822	193589	1580	3082	6632	8024
Oct 2017	273	230	112	59	1021	197060	1834	3495	7143	8470
Sep 2017	243	213	110	50	810	172511	1500	3324	6403	7312
Aug 2017	248	211	107	51	795	169645	1593	3323	6561	7705
Jul 2017	246	204	126	56	854	136332	1764	3918	6332	7646
Jun 2017	259	225	145	56	830	142932	1697	4361	6756	7782
May 2017	303	209	164	55	756	124663	1732	5091	6494	9410
総合計						1915070	19224	48861	81432	100879

Generated by [Webalizer Version 2.21](#)

講演会『世界における日本の医療』

日本医師会常任理事 鈴木邦彦先生

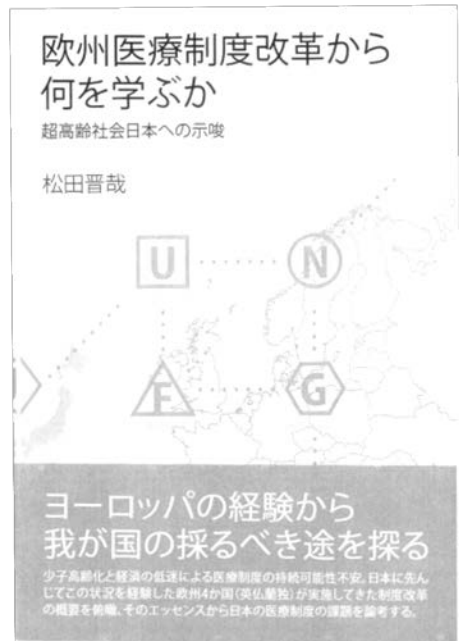
休憩ののち、午後6時より学術講演会が開催されました。



学術講演は、日本医師会常任理事 鈴木邦彦先生による「世界における日本の医療」というテーマで、ドイツ、フランス、イギリス、オランダの医療制度を解説し、日本の医療との違いを詳しくお話いただきました。



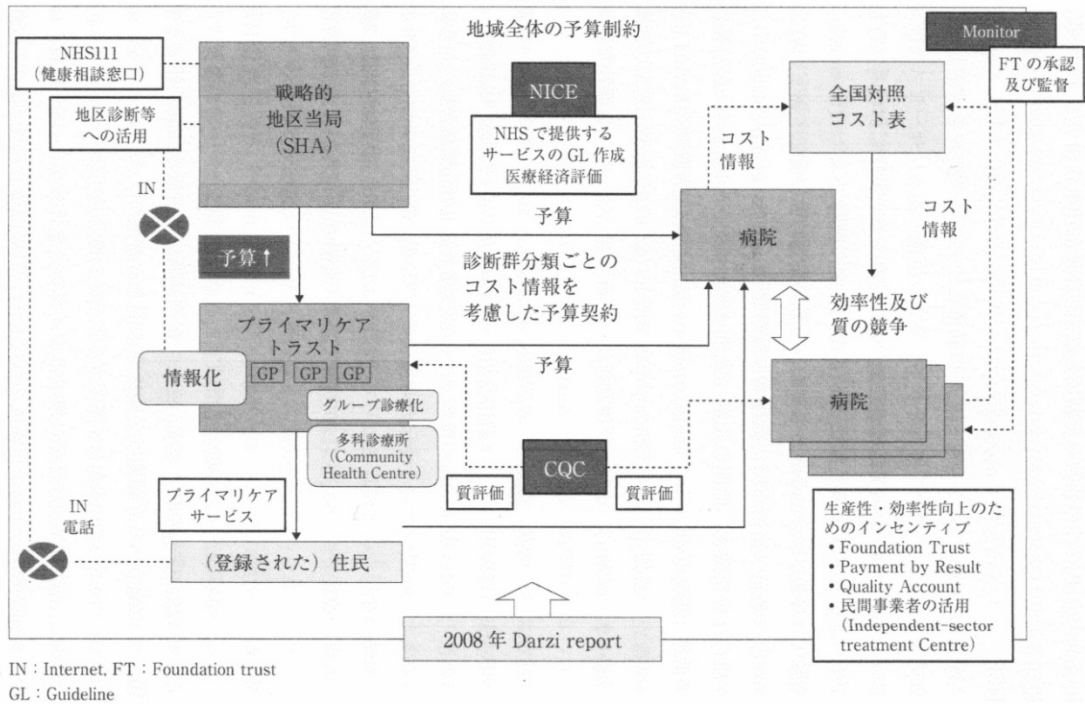
後日、鈴木邦彦先生には、講演内容の原稿を依頼したのですが、その後体調を崩され原稿をまとめるのは不可との事で、代わりに私 (J11VAH) が、鈴木邦彦先生が団長を務められた使節団のメンバーでもある松田晋哉先生の著書「欧州医療制度改革から何を学ぶか」を元に内容を説明します。



イギリスの医療制度

イギリスの医療制度は、1948年より導入された国民医療サービス(NHS)と呼ばれるもので、当時の先進国の注目を集め、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、スペイン、ポルトガル、イタリアなどでも導入されました。もともと税金を主な財源とするもので、予算制にありがちな効率の悪さや財源不足となり、入院までの長い待ち時間など1970年代には機能不全に陥り、その後の政権がいろいろな改革を行うこととなりました。イギリスの医療制度の特徴は、家庭医 (General Practitioner GP: 一般医) を中心としたプライマリーケア体制にあります。競争の原理を導入し医療の質と能率性を良くするために、国民は自分の家庭医 (GP) を決めて登録し、通常の診察については、まず家庭の診察を受けなければなりません。GPが必要と判断したときは、病院の専門医に紹介されます。ただし、受診する際は、一般医、病院での診察に対する自己負担はありません。

図表 1-4 イギリスの医療制度（ブレア政権以後）



フランス

フランスの医療制度は、日本と同じく国民皆保険です。また、患者は、医師および医療機関の選択の自由があり、診療報酬は出来高払いです。医師の自由開業制による医療も認められています。わが国の医療に最も近い医療制度です。医療保険は職域がベースで構成され、国民の80%をカバーする被用者保険制度、自由業者保険制度、特別制度、農業一般制度の4つに大きく分けられます。被保険者は受診する医療機関は自由に選べますが、受診した際には、医療機関で診察料の全額を支払い、医療機関の発行する領収書を後に所属する疾病保険金庫に送り、償還を受ける償還払い制となっています。

オランダ

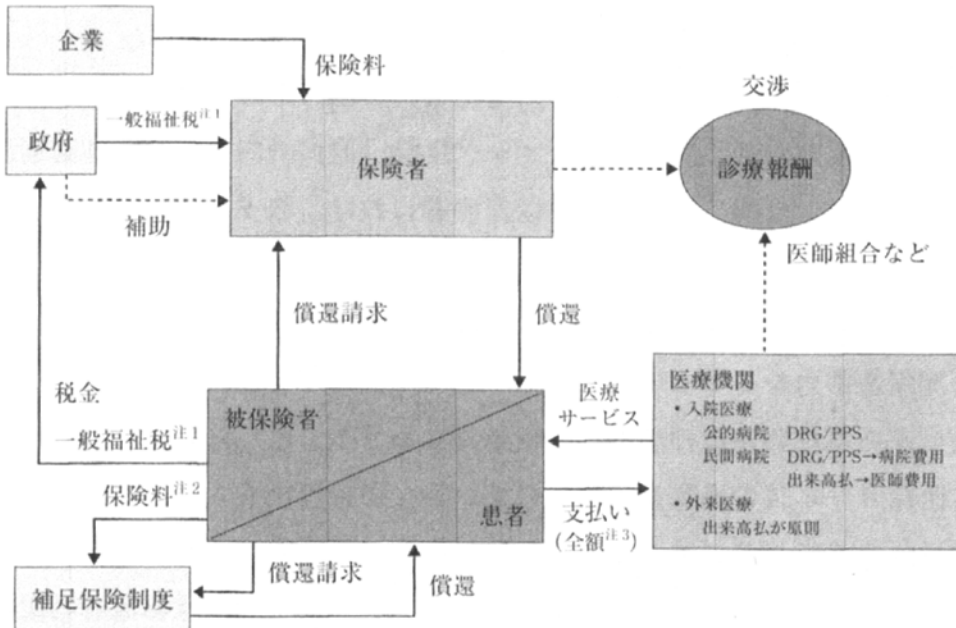
オランダは日本と同じ社会保険制度によって

国民全員の医療を保障しています。医療制度改革に関しては、オランダは今世界でもっとも注目を集めています。それは1986年 **Enthoven** の提唱した「管理競争」を世界で初めて制度に導入したからです。この仕組みが、医療費の適正化と質の向上の両立という問題に機能するのか、その成果が問われています。オランダはすでに1980年代に以下のような医療制度の問題を提起して改革に取り組んできました。

- 1人口の高齢化
- 2医療技術の進歩
- 3患者側の主権主義の台頭
- 4過剰な行政の介入
- 5複雑な医療の財源
- 6医療の質への関心
- 7EUと連動した医療の倫理
- 8医療以外の環境、住居、教育などの総合的な健康管理

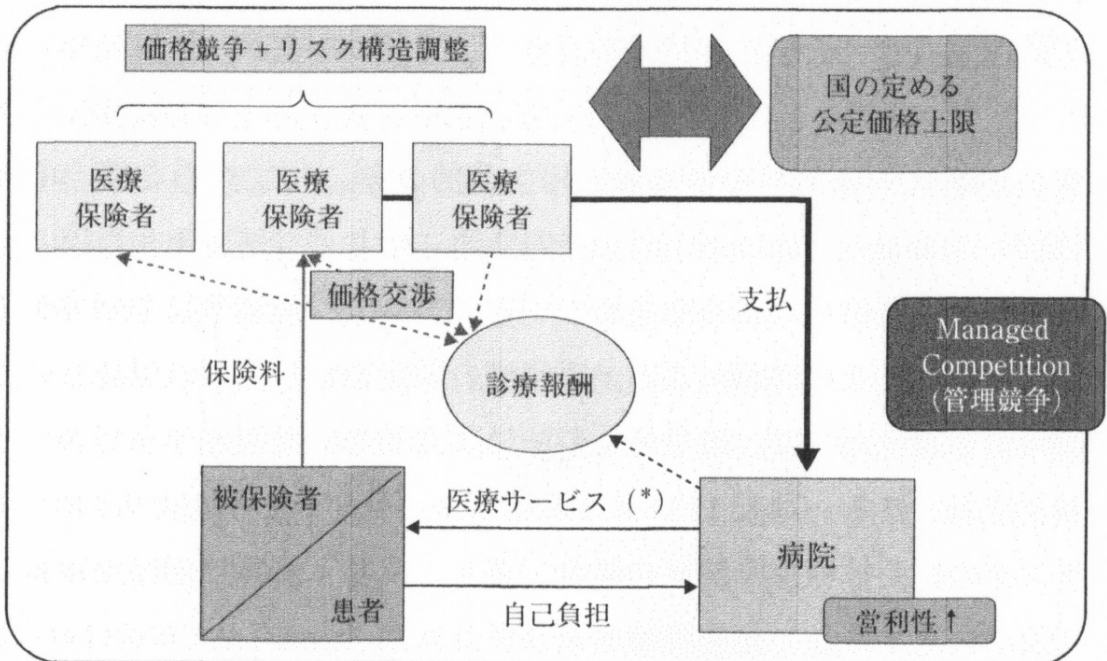
オランダで行われている社会実験や議論が今後の日本にとっても大きな参考になることは間違いなさそうです。

図表 1-10 フランスの医療保険制度（償還制）



注 1：現在は保険料ではなく一般税化が進んでいる
 注 2：多くの場合は労働協約に従って雇用者が負担
 注 3：公的病院の入院医療は一部負担のみ（第三者支払い方式）

図表 1-30 オランダにおける医療制度改革（2006年～）



*一般医によるゲートキーピング。

ドイツ

ドイツも日本と同様に社会保険制度を基本として医療給付を行っています。日本の社会保障制度もドイツの制度を参考に構築されたものですが、医療保険財政の健全性や医療資源の適正配置という点ではドイツは高い水準にあるので、今後の日本の医療制度改革においては参考になる点が多いのです。ドイツの医療制度の一番の特徴は、医師組織の自治レベルの高さです。ドイツの医師は全員医師会加盟が原則であり、医師会は卒前医学教育、卒後の専門医学教育、生涯教育に対する責任を持ちます。また、医師会は医師の適正配置についても責任を持ち、多くの責任を持つことで、行政からの不要な介入を受けません。たとえば、開業する場合には、日本のようには自由に開業できません。図のように、専門診療科ごとに医師1人当たりの人口が決められており、その比率が110%を超えて開業はできません。

図表 1-34 ドイツ・ノルトライン州の医師配置の基準値

専門診療科	医師1人当たり人口基準値
家庭医	1,671
眼科医	13,399
外科医	26,230
婦人科医	3,733
皮膚科医	21,703
耳鼻咽喉科医	17,675
神経科医	13,745
整形外科医	14,101
精神専門療法医	3,079
泌尿器科医	28,476
小児科医	2,405
麻酔科医	46,917
放射線科医	49,095
内科専門医	21,508
小児思春期精神科医	16,909
遺伝科医	606,384
臨床検査科医	102,001
脳神経外科医	161,207
核医学医	118,468
病理医	120,910
リハビリテーション科医	170,542
放射線治療科医	173,576
輸血科医	1,322,452

供給量の程度 (VG) = 地区医師数 × 地区医師1人当たりの基準値 / 地区人口

たとえば、アーセン市の人口 257956 人

アーセン市の現在の眼科医師数 22 名

アーセン市の地区基準値 13177

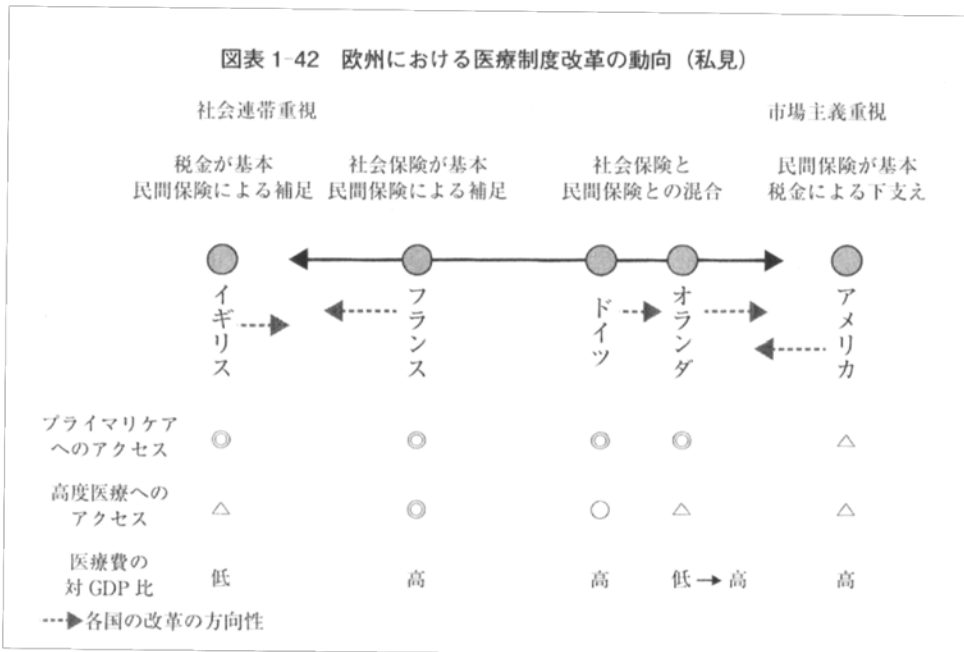
$$VG = 22 \times 13177 / 257956 = 1.12 = (112\%)$$

よって110%を超えているので、新規開業は不可です。飽和の地区では、医師の欠員が出ない限り開業できないということです。ただし、医師数が基準値以下の地区での開業は、診療報酬上優遇が受けられるとの事です。

各国の今後の医療制度改革

両極に税金を主財源とするイギリスと民間保険を財源とするアメリカがあり、その間に社会保険が主な財源のフランスとドイツがあります。今後の各国の方向は、イギリスはフランスに寄り、

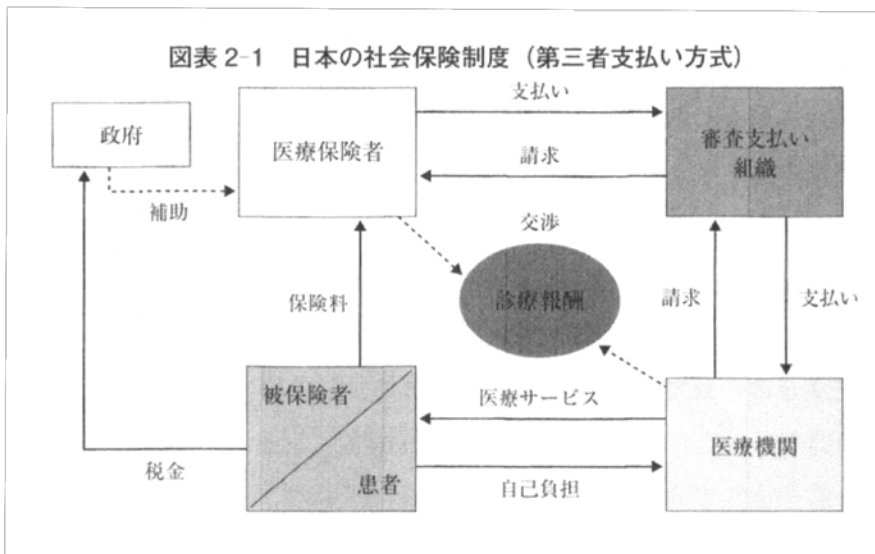
フランスはイギリスに近づくかもしれません。アメリカはオランダに近づき、オランダもアメリカに寄ると考えられます。ドイツもアメリカ寄りになるかもしれません。



日本の医療制度

社会保険制度を主体とし国民皆保険、患者は自由に医師及び医療機関を選択でき、そして医療費出来高払いの3本柱を基本とする日本の医療は、今後も維持できるのでしょうか。高齢化社会を迎え、ますます高度化する医療技術に対応するために、日本の医師およびその組織もしっかりとしたビジョンを持ち、医療の質

を維持しつつ、適切な医療制度、医療資源の配分に真剣に取り組む必要があり、行政に対してもしっかりと意見を述べていかないと、医療現場に即さない机上の論理での医療改革を押し付けられることにもなりかねません。さて、フランスに近い日本の医療制度は今後どちらの方向に進んでいくのでしょうか。



出典 松田晋哉著「欧州医療改革から何を学ぶか」2017年勁草書房

記念撮影



第 42 回 日本医師アマチュア無線連盟 総会 2018年4月21日(土) 於 ホテルテラススクエア日立

懇親会

メニュー

春の和風前菜

桜蛸のカルパッチョ仕立て 赤葱のコンフィ添え

茂宮かぼちゃの冷製スープ

常磐沖ヒラメのソテーヌ風味

常陸牛ミニッツステーキ キのこのデイクセル添え

日立港しらす入り かき揚げ常陸蕎麦

ホテル特製デザート 県産フルーツ添え

地元の食材を使ったメニューで、美味しくいただきました。

懇親会では、海外でのアマチュア無線運用について、JI1VAH 天谷より、相互運用協定によるニュージーランドからの運用と、JH3AEF 東條 OM によるブータンからの運用が、多くの

スライド写真を元に上映されました。

2次会は1Fのレストランバーを予定していましたが、この日は、結婚式の団体が入ったため、早期に終了してしまうハプニングがあり、懇親会場にオードブルを追加注文し、夜10時まで会員各局、無線談義で楽しく歓談しました。

エクスカージョン

翌4月22日は快晴でした。ホテルの海側の部屋に泊まった各局は、水平線からの日の出を見ることができたと思います。各自1Fのレストランで朝食を済ませ、8時30分水戸方面に大型バスで出発です。途中、日立灯台を眺めるため久慈浜海水浴場に降り立ち、さわやかな海風にあたってもらいました。



水戸には10時半頃到着しました。バスが駐車できるのは東門ですが、偕楽園は陰と陽の2つの顔を持つ構造になっているので、住宅街を抜け、正門である西門から入りました。偕楽園は3大庭園でありながら、いまでも入場無料で誰でも自由に入れます。最初は竹林と杉林で、鬱蒼とした陰の世界です。



やがて坂を上ると一気に視界が開け、霧島ツツジの咲き乱れる陽の世界に変わります。

偕楽園は梅が有名ですが、梅林はその一部であり、偕楽園の広さは、都市型公園としては、



ニューヨークのセントラルパークに次ぐ世界第2位の面積を持ちます。好文亭も見学し、南に広がる千波湖も眺めました。私は中学校、高校と6年間、日立から水戸まで電車通学していました。水戸には青春の思い出がたくさんあります。久しぶりに見るこの風景を見て、50数年前の記憶がよみがえりました。中学生のとき、同級生の女の子と偕楽園と千波湖でデートし2人でボートに乗った思い出があります。中学の制服でデートしたため、学校に通報され先生に怒られたこと、また、高校時代には、偕楽園に昼ごはんの弁当を持っていき芝生の上で食べたことなど、はるか記憶のどこかに仕舞込んでいたものがよみがえりました。のんびりとした偕楽園散策後、千波湖畔にある「とうすい庵」に徒歩で向かいました。

昼食のメニューは、いかにも質素で水戸光圀の思想を反映していました。

前菜 ご長寿前菜八点盛り

椀物 焼ききすとじゅん菜のすまし仕立て

刺身 クロレラ蒟蒻と大子産生湯葉

揚げ物 納豆真丈・海老真丈・茨城野菜

主菜 まごころ豚のつゆしゃぶ 梅風味

食事 茨城県産こしひかり 香の物

甘味 わらびもち・ようかん

飲み物 奥久慈茶

のんびり、美味しくいただきました。

その後弘道館に向かいました。



弘道館は、高台の水戸城、三の丸公園にある重要文化財です。柱には弘道館戦争で撃たれた弾の跡も生々しく残っており、明治以後の混乱も垣間見えました。



弘道館には尊王攘夷の思想があり、明治維新の教育勅語もこの弘道館の思想が原本であることを知りました。まさに近代日本を作った水戸学でしたが、新しい世の中をつくろうと行動したはずの「桜田門外の変」では、事件後約束していた薩摩藩も蜂起せず、事件にかかわった

水戸藩士は行き場を失い、逃亡していた水戸藩士18名もほぼ全員捕まり、事件から2年後には、全員が獄死したり、幕府の手により斬首されてしまいました。また、その後の天狗党の騒動で、京都を目指した水戸勢約1000名は願い叶わず加賀で投降し、加賀藩は天狗党に対し丁重に対応しましたが、一行を引き取った幕府は、練倉に幽閉するなど過酷に扱い、多くの病死者を出しています。その後天狗党の幹部は敦賀に移送され、水戸藩士352名が敦賀の來迎寺境内で斬首されました。そのわずか3年後、明治維新を迎えるのですが、結局水戸藩士は新政府の重要ポストには登用されませんでした。

後日、多数の水戸藩士の敦賀での非業の最期を知った JE9RWF 岩堀 OM が、敦賀市の來迎寺を参拝され、斬首された天狗党の水戸藩士、武田耕雲斎親子らのお墓にお参りいただきました。天狗党の面々も京都を目指す道中では福井では大変お世話になったようです。昔から水戸藩と福井は友好関係にあったようで、今でも敦賀市では、毎年10月9日には、水戸藩士の遺徳を偲び、法要と慰霊祭が行われているようです。

のんびりとした水戸の偕楽園とその周辺の歴史探訪も終わり、午後3時前に水戸駅で来年の再会を誓い、各局とお別れしました。準備にはいろいろ苦労しましたが、終わってしまうとあっという間の2日間でした。無事MARS総会、エクスカッションを終え、新たな気持ちでまた無線を楽しもうと思いました。総会、エクスカッションと事務方仕事に専念したため写真撮影ができませんでした。この報告を書くにあたり JA1KXT 相田 OM より貴重な写真をお借りました。ありがとうございました。

第42回日本医師アマチュア無線連盟日立総会出席者(敬称略)

お名前	コールサイン	
国府田 守雄	JA1FF	東京都
相田 信男	JA1KXT	群馬県
大久保 嘉明	JR1CDJ	埼玉県
井上 博	JR1SJD	群馬県
井上 裕子	JR1SJD XYL	群馬県
天谷 龍夫	J11VAH	茨城県
中村 幸伸	JK1AIN	東京都
井上 文正	JL1BGP	東京都
井上 喜代	JL1XWR	東京都
丸山 暢	JH2QBQ	愛知県
丸山 成子	JH2UDD	愛知県
東條 純一	JH3AEF	大阪府
家田 勝幸	JH3TCC	和歌山県
柴田 敏弥	JF3MTM	大阪府
及川 忠人	JA7AOM	岩手県
黒田 直人	JA7NME	福島県
渡辺 孝志	JH7QFA	宮城県
高瀬 信弥	JP7FSO	福島県
岩堀 嘉和	JE9RWF	福井県
姉崎 静記	JH0LME	新潟県
山本 賢	JR0NQU	新潟県
山本 みちこ	JR0NQU XYL	新潟県

新入会員

JR2GPR	林 真也 先生	岐阜県岐阜市
JE6MRG	岸 泰至 先生	熊本県菊池市
JR2FGQ	後藤 貴吉 先生	岐阜県大垣市
JR2GSI	太田 隆之 先生	愛知県長久手市
JH7HVF	菊池 俊彦 先生	岩手県遠野市

ブータン王国での A52EQW 運用記

JH7EQW/A52EQW 湯浅 涼(宮城県)

MARS ニュースの編集長の JF3JON 田中憲児先生から、A5 でのペディションならびにブータンにおける医療活動に関する投稿を依頼されたので、A5 での運用までの経緯、医療活動の合間に体験した A5 での運用などについて記します。

1. 未曾有の大震災・大津波

2011年3月11日の東日本大震災から早8年が経過しようとしているが、現在でも当時の想像を絶する揺れとその後の大津波の到来による宮城、岩手、福島、青森の東日本太平洋沿岸の被害はその爪痕を残し、復興、復旧の途上である。過去の100年に一度と云われる大津波とは異なり、福島原発のメルトダウンにより、その影響は今後もエンドレスに続くのではないかと危惧している。

14:46 大地震発生と同時に停電、余震の中、患者、職員の安全確認後、駐車場に急行し車搭載のモービル機で 439.62MHz のリピーターにアクセスしたところ、即、応答した局が JM7USW 故佐藤幸弘先生であった。「職員、家族を安全な鳴瀬大橋付近に誘導し、これから住民の避難支援に向かいます。そちらの状況は如何ですか？お互いに頑張りましょう・・・」が最後の交信となった。宮城メディカルハムクラブ JH7YFB の会員として常に災害支援、救援に力を注いできた先生は、大津波がやがて到来する自院方面に住民の避難指示に向かう途中に、大津波に飲み込まれてしまい、数日後に車内からマイクを片手にした先生のご遺体が発

見されたのである。

震災直後から県・市医師会員総出で体育館などに安置されたご遺体の検屍、避難所などでの健診、保健指導などにあたった。当院の地区(泉区)は高台にあり、津波の犠牲者は皆無であったので、当院所有の検診車(手術用顕微鏡など小手術可能の機器搭載)で被災地への巡回診療にあたった。途中のいたるところに想像を絶する光景を目にして被害の甚大さに愕然とした①。その後、全国から多くのボランティアの方々が被災地に訪れ復興、復旧に携わる姿に接する度に感動し、自分達の更なる活動を模索していた。



① 東日本大震災・巨大津波後の光景(女川町)

福島原発事故の影響以外は徐々に元の生活に戻りつつあった 11 月 18 日に、ヒマラヤの裾野にある小国ブータン王国から第 5 代ワンチュク国王・王妃両殿下が原発事故と大震災、巨大津波による最も過酷な状態にあった福島県沿岸に僧侶を従えて訪れ、犠牲者に祈りを捧げ、また、避難している小学生に「龍(ブータン王国の象徴)は本当にいると思うか?」、「皆さんの心の中に居るのです・・・」との会話は印象

的であった。その前日の衆議院本会議場で流暢な英語でブータン王国の「GNH 国民総幸福論」の講演は多くの国民に感動を与え、ブータン王国を知る機会となった。

2. A52DL との交信

2011.11.7ブータン国王ご夫妻の訪日の直前に A52DL と 21M Hz で交信出来た。しかし、その際は prefix の A5 のブータンの位置が分からず、アンテナの方位がほぼ西方向で信号強度が最大であったことから、小国ブータン王国を地図上でやっと見つけることが出来た。ヒマラヤの裾野の九州ほどの小国で、今後ともあまり関わりのない国と認識していたが、まさか A52EQW としてブータンから QRV するなど夢にも思わなかったのである。

3. Volunteer Ear Surgery in developing countries のスタート

前述のごとく、2011 年の東日本大震災の年はブータン王国を知る年となった。国王ご夫妻の訪日、A52DL との交信、そして国王は震災翌日に全国民に対して「日本で発生した大震災の犠牲者に対して祈りを捧げるように・・・」と指示し、更に国家予算に近い額の義援金を贈ったことを知った。

以前から機会があれば筆者が 1989 年に開発、発表した「フィブリン糊を用いた簡易な鼓膜形成術(接着法)」を途上国で実施し普及させたいという思があった。ブータン王国での実施が可能であれば、国王の慰霊訪日や多額の義援金に対する僅かなお返しになり、また同時に間接的な東日本大震災へのボランティア活動にもなるのでは、と考え、2012 年 6 月に初めてブータン王国を訪れた。首都ティンプーの国立

総合病院(JDWNRH)を訪れ、院長らと面談し事業遂行の快諾を得た。翌 2013 年の GW に第一回事業を当院から 3 名、北大と兵庫医大から各 1 名の計 5 名で接着法による鼓膜形成術を 27 名の患者に行った。ブータンには当時 3 名の耳鼻科医が首都の総合病院に在籍していたが、外傷、腫瘍、重症感染症などで手一杯で慢性中耳炎の治療は後回しの状態で、難聴、耳漏の患者は山ほど多く、そのうち重症な患者を選び手術を行った。1 週間の滞在中にやはり A5 でのペディションのことが頭を離れず、何とか実現へといろいろなルートに当たり、10 月の第二回事業時に A5 での QRV の可能性が浮上した。早速、MARS の重鎮で国外でのペディションの経験豊富な JH3AEF 東條純一先生にこの話を持ちかけたところ快諾を得た。

4. A5 での運用ライセンス獲得

A5 のコールサインを取得して、ブータンから CQ を出すためには多くの手続きが必要であった。ブータン王国への入国には勿論入国ビザが必要であるが、われわれのボランティア活動には保健省からビザが発給されるが、このビザでは Paro 国際空港と首都 Thimphu との間の移動に限定され、国内を自由に移動が出来ない。それゆえ、病院と運用予定の Dochula 峠(3500m)への移動は出来ず、一般観光ビザでの入国となる。A5 ライセンス取得のためには、1) 申請書 Application for Amateur Radio License for operation in Bhutan、2) 英文の従免、局免の写し、3) Bhutan へのビザ、Passport の写し、などが必要である。入国後に首都ティンプーにある電管(BICMA:Bhutan InfoComm and Media Authority)に出向き、免許受理を行う必要がある。現在は書類の申

請は前もってネットで行えるようになり手続きは簡素化されている。我々の場合は Volunteer 活動の実績もあり、現地の旅行会社 Zhidey Bhutan Tours & Treks などの特別な計らいで、出国前にメールでライセンスを取得することができた②。

Bhutan InfoComm and Media Authority
Royal Government of Bhutan

License Number: 504000218

RADIOCOMMUNICATIONS AMATEUR LICENCE

The Bhutan InfoComm & Media Authority, Royal Government of Bhutan issues this Radio communications License to
RYO YUASA, JH7EQW, JAPAN

Holding valid Amateur Radio Licence from Japan and call sign JH7EQW
for the operation of Amateur Radio from the Kingdom of Bhutan.

The specification mentioned below:

Station	Call Sign	Frequency(MHz)	Power in watt	Bandwidth and Type of Emission
Dochula, Thimphu	A52EQW	1.80 -2.00,	24.890-24.99,	200 watts In accordance with ITU-RR
		3.50 -3.90,	28.000-29.700	
		7.00 -7.20,	50.000-54.000	
		10.10 -10.15,		
		14.00-14.35,		
		18.068-18.168,		
21.000-21.450,				

The Licence shall be valid from 4th September, 2014 to 11th September, 2014.

This licence is subject to the conditions outlined in the National Radio Rules and the Bhutan Information, Communications and Media Act, 2006. In addition, the licensee shall use only those frequency (ies)/spectrum assigned at the operating location within the transmitter power limit indicated above or as according to the International Telecommunication Union standards.

S.B.
Issuing Authority

Director
Bhutan InfoComm & Media Authority
Thimphu

②A52EQW 2014 のライセンス

5. 多難な前途

2013 年本 Volunteer 医療活動は 2 回で、医療チーム(首都)と無線局(3500m の高地)と 2 か所を往復するタイトなスケジュールとなった。羽田発の夜行便で関空からの JH3AEF 東條 OM、JA3IVU 北井 OM を経由地バンコックの乗り継ぎコーナーで早朝待ち合わせを約束するもお二人は現れず、止むを得ずブータン国際空港 Paro 行きの送迎バス乗り込んだところ、発車直前にお二人が到着。関空での出発が 1 時間遅れたため、一日 1 便のこの便に間に合う

ように空港側の手配で連絡バスにより直接到着という離れ業であった。前途多難が予想されるペディションの始まりであった。無事、予定通り Paro 空港に到着したが、心配は税関での無線機、アンテナなどの機材のチェックであった。北井 OM はアンテナ HEX-5 など大きな荷物であったが、チェック無で通過したものの、東條 OM と私は荷物のチェックをされ、なかなか通関できずの状態。そこで既にゲットしていた A52AEF, A52EQW のライセンスが功を奏して無事通関できた。かれらが既に取得していたライセンスをじっくり眺めていた姿が思い出される。おそらく、彼らは初めてアマチュア無線ライセンスを手にしたのであろう。さて、何とか通関した 3 名③のうち、私は医療器材のチェックと患者のスクリーニングのために首都ティンパーに、無線家 2 名は剛腕のドライバー Mr.Ughen の運転で運用地 Dochula 峠のホテル Dochula Resort に向かった。



③ A52EQW, A52AEF, A52IVU(Paro 国際空港にて)

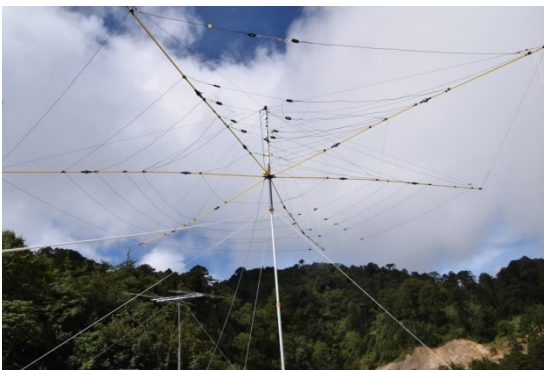
6. A52EQW の初運用(2013.12.10~ 10.13)

私は首都の病院で数日後から始まる第二回医療活動の準備を終えて、翌日、首都から山道を 1 時間余で OM2 名のシャックのある Dochula Resort に向かった。シャックには



④ 海拔 3500m のシャック内の3局のコールサイン

3 局のコールサインが貼られており④、ベランダには蜘蛛の巣のような複雑な形状の HEX-5 (14~28 MHz) と 3 エレ Mini-multi (18~28MHz)、Long wire (1.8~7 MHz) など が設置されており⑤、東條 OM は CW で、北井 OM は PC に向かって無言でマウス操作を行い、FT8 でパイルアップを捌いていた。



⑤ ベランダのアンテナ (HEX-5、Mini-multi)

やはり、A5 は各国のハムにとってゲットしたいカントリーなのでしょう。太陽活動が低下傾向にも拘わらず High Band も比較的良く開けており、私も初めての海外からの CQ を 18、21MHz SSB で開始したものの、あまりのパイルアップに対処しきれず、東條 OM に紙ログへの記載のお手伝いをして頂く有様で、一旦 QRT。受信周波数を 5KHz 上げての SPRIT 運用に切り替えてパイルアップに少しは慣れ、初日は 1 時間あまりの間に約 20 局との交信で汗だくと声がれの初舞台であった⑥。Low Band 特に 3.5、1.8MHz はノイズが多く交信不可のようで、High Band が多用された。至近距離の 3 局か

ら同時に送信されることもあるために、各アンテナに狭帯域 BPF が挿入されており、その切り替え作業など慣れぬ作業にも戸惑った。翌日にはパイルアップにも多少慣れたものの SSB では、発声なしの CW、デジタル通信 FT8 と比べてことさらに疲労が溜まり、「QRT for lunch, please stand by at this frequency・・・」と言いついで一休み。

2 日間の初体験海外ペディションを終えて、3 日目早朝 OM 達と別れ、Paro 空港に「医療チーム 7 名」の出迎えのため下山し本業に QSY した。



⑥ 初めての海外運用で緊張の A52EQW

7. 翌年 2014 年の運用 (2014.9.5 ~ 9.6)

翌年 2014 年もペディションのため、医療チームより 3 日早くブータン入りして、9 月 6 日から前年同様地で JH3LSS 宮川 OM を加えて 4 名でのペディションが始まった。80 歳前後の老人？が何日間も部屋に閉じこもり、早朝から何やらやっている姿にホテルのスタッフも唾然としていたのも当然であろう。JH3AEF は CW と SSB、JH3LSS は CW only、JA3IVU は PSK only で猛烈なパイルアップを何の苦労もなく捌いており、キャリアの差を益々感じずにはおられなかった。私も今年は今年の 10 倍を目標で臨んだ 2 日目のペディションであった。この年 3

月にパラオ共和国から T88YR で QRV して 2 日間で 180 局と交信でき、少しは慣れたせいか、2 日間で 137 局と交信できた。一方、他の OM 達の交信数はいずれも私の 10 倍近くで、やはり経験に比例していることを痛感した。この少ない局の中で MARS のメンバーでは JH4UYB 岡野正樹先生、JA1KXT 相田信男先生などとコンタクトできたことは幸であった。しかし、地元の JH7YFB のメンバーに対して「CQ, JA7, JA7…」と繰り返しコールしたが、YFB のどなたのコールサインも聞こえず、心残りであった。

8. Mobile での単独運用 (2015.9.3 ~ 9.4)

この年は第4回目の医療活動で、無線運用は医療事業終了後に単独で Paro 空港から車で 3 時間ほどの Chelela 峠 (3998m) から Mobile での運用にチャレンジした。アンテナは今回持参したモバイル用スクリュードライバーアンテナ (3.5~30MHz、第一電波工業) をルーフに取り付け、リグはこれまで同様 FT450D で、車載バッテリーを電源として運用した⑦。



⑦Chulela 峠で運用の準備完了の A52EQW

海拔 4000m とはいっても周囲はそれ以上の山々が連なり決してロケーションは良いとは言えず⑧、アンテナも車の屋根上のホイップでの運用で、またお空の状態も年々低下しており、2 日間で 16 局のみの交信で終了した。交信エ

リアは近郊の東南アジア～ロシア～北ヨーロッパと限局的であったが、モバイルでの単独ペディションも初体験で勉強になった。



⑧海拔 4000m の Chulela で運用中の A52EQW

9. おわりに

本業の Volunteer Ear Surgery in Bhutan は 6 年間、8 回の事業を本年で完結し、予想以上の成果を得た。毎回、ブータンの医師、パラメディカルの皆さんにレクチャー、その後パーティを開催し、彼らともすっかり打ち解けて交流ができた。地元有力紙 Quensel にも毎回記事が掲載され⑨、



» The third mission of volunteer ear surgery was carried out from September 7-10 at Jigme-Dorji Wangchuck National Referral Hospital in Thimphu. Led by Dr. Ryo Yuasa, a team of four Japanese doctors and three Japanese nurses operated on 28 patients in the span of three days. The team used the Doctor Yuasa's method - the simple repair method of eardrum perforation.

⑨有力紙 Quensel に掲載 (第2回事業終了時)



⑩首相官邸に招待された両国医療チーム



⑪突然の首相来訪に際して説明中の筆者

またドブゲー首相官邸に招かれ⑩、手術中に突然見学に来られたり⑪一応の評価を頂い

た。こうした海外でのボランティア事業の合間に JH3AEF 東條先生他、OM のご指導で海外、特に交信チャンスが少ない A5 からのペディションを経験できたことは私のハムライフで最もエキサイティングなもので OM 各位に深く感謝いたします。また、運用までのライセンス取得などで大変お世話になった旅行社 Zhidey Bhutan Tours & Treks の青木 薫様、医療から無線、観光まですべての分野で活躍した Multi-lady の Ms.Deki に深く感謝申し上げます。

なお、使用したリグ FT450D、安定化電源 (Alinco DM-330MV 240V→13.8V)、アンテナ Mini-multi(18,21,24,28MHz)などは前記 Zhidey Bhutan Tours & Treks に保管されておりますので、MARS 会員の方で A5 での運用ご希望の際には小生宛てご連絡ください。また、運用上の技術面に関しては JH3AEF 東條先生にご相談して、是非 A5 で運用し、パイルアップになったら、「CQ,JA MARS Member Only! 」とコールして頂き、コンタクト出来ることを願って駄文を終わりと致します。

喜寿のチャレンジ

— 国家試験「第一級アマチュア無線技士」を受験 —

JH7EQW 湯浅 涼(宮城県)

携帯電話が普及した現在、アマチュア無線を楽しむ若者は激減して、いまや「絶滅危惧種」になりつつある。私が昭和 48 年(1973 年)、医局から東北労災病院に移った頃、石油ショックによるガソリン不足、価格の高騰の影響で車遊

びは終焉を迎えていた。片桐教授最後の年 1971 年に休暇を頂き、「1 泊 4 日の第 13 回日本アルペンラリー」に参加したものの、初日にリタイアして、その後は車道楽から遠ざかっていた。

労災に移って、アマチュア無線でもやってみようかと思いたち、「電話級アマ無線技士(現在の第四級アマ無線技士)」の国家試験に小学生に混って臨んだのが 1973 年で、2 年後に、モールス信号をカセットテープで猛練習して、何とか「第二級」を取得し(図1)労災病院宿舍屋上のアンテナから電波を出し、国内外の見知らぬ相手との交信を楽しんだ。労災病院の研修中の

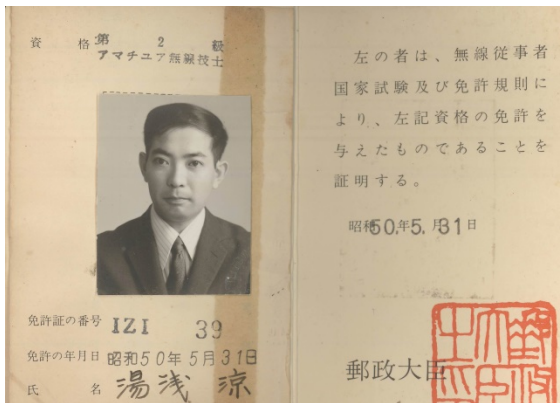


図1

先生方相手に課外学習と称して、「アマ無線資格取得講習会」を行い、強制的に無線工学を学んでもらった。その結果、飯野(旧姓佐野)ゆき子先生、西條 茂先生、神林潤一先生、青葉祐子先生らが国家試験に合格し、それぞれコールサインが付与された。それ以前に、大山健二先生 JA7MIJ、沖津卓二先生 JH7MHG、渡辺孝志先生 JH7QFA などが既に免許を取得されており、本同窓会員のアマ無線家は一気に膨れ上がった。それを機に、県内の医師アマ無線家が「宮城メディカルハムクラブ JH7YFB」を結成し、県医師会長(当時)故安田恒人先生 JR7CAD、オープン病院理事長 中川 洋先生 JA7WTH、婦人科医水戸洋一先生 JA7TKC(歴代 JH7YFB 会長)・・・など十数名が名を連ね、週一回の無線集会 Roll Call がこれまで 40 年間続けられ、一昨年 2,000 回目の

祝賀会がもたれた。40 年間休まずに今日まで続けられた功労者はやはり Net Controller の渡辺孝志先生と労災病院、仙台オープン病院屋上に上げてある UHF Repeater(極超短波中継局)とその管理を行っている大山健二先生のお蔭である。

さて、本題に戻り、今春、喜寿の記念に「第一級アマチュア無線技士(以下一アマ)」の国家試験にチャレンジすることを公言した。現有の「二アマ」の資格との違いは短波帯での許容最大空中線電力が 200W の 5 倍の 1kW(+7dB)になるだけであり、実質上は何のメリットも無いに等しいのである。しかし、「二アマ」と「一アマ」とでは、何となく響きが違う。格の違いであろうか。正看と准看との違いと似た感じかも知れない。

試験内容は「電波法規」30 題、無線工学 30 題の選択マークシート方式で、これまた初体験で、試験時間は各 2 時間 30 分である(図2)。やはり難関は無線工学である。物理、数学は大学受験以来の 60 年振りであり、複素数計算から始まり、トランジスタ、FET 回路の増幅計算、発振回路のインピーダンス計算、二進法の論理回路、送受信機の回路・動作、電波の伝搬に関する知識、などなど広範な無線工学の知識が要求される。あるテキストによると、「今度一アマを受けるぞ!」と宣言するのが秘訣と記されていた。なるほど、公言すれば、勉強せざるを得ない。

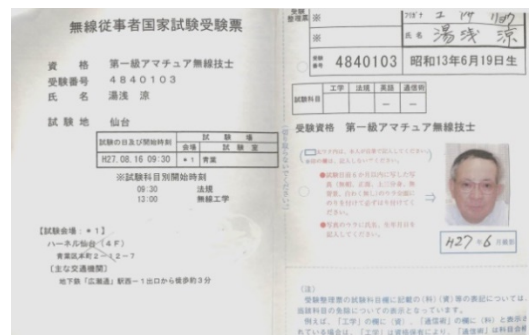


図2

アマの資格のご利益はほとんど無いに等しいので、頓挫することが多いのであろう。と言う訳で、今年6月に「さあアマを取るぞ!」と、家族は勿論、三十余名のスタッフに公言し、受験勉強体制に入ったのである。診療が終わり帰宅前の2時間、それに毎朝4時起きでの出勤前の数時間と、60年前の大学受験体制で臨んだ。「ズバリアマ合格」なる教科書の数式に蛍光ペンでアンダーラインを引き、 $f=1/4\pi\sqrt{LC}$ からコンデンサーCの容量を求めたり、複素数 $4-j5$ の計算などとの2か月間の戦いを終え、昨日8月16日に「喜寿の挑戦」が終わった。結果は来月発表とのことであるが、自己採点ではギリギリセーフあたりの得点である。これまでの試験、東北学院中、東北大医学部、大型バイク免許、四輪免許、そして二アマ試験すべて、ギリギリセーフでパスしてきたので、今回もその強運でギリギリセーフになるか、それとも「喜寿の黒星」になるのか? 本稿が読者の目に触れる頃には「喜寿の挑戦」が「無謀な挑戦」と笑いものになっているかも知れない。それでも、「この挑戦」は60年前の大学受験時代にタイムスリップしたようで、当時、数学、物理、を教えていただいた恩師や両親の恩を感じ、感謝する良い機会でもあり、無駄ではなかったと思っている。

(試験翌日8月17日記)

追補:9月6日、第4回途上国耳科手術支援事業を終えて、ブータンから帰国したら、9月1日付けの「無線従事者国家試験結果通知書」が届き、無敗記録は何とか保たれた(図3)。

無線従事者国家試験結果通知書

平成27年8月期実施の国家試験の結果は、次のとおりでしたので通知します。

資格 第一級アマチュア無線技士
 受験番号 4840103
 氏名 湯浅 涼

結果 **合格**

合格年月日 平成27年9月1日

平成27年9月1日

公益財団法人 日本無線協会



無線従事者免許証

一級アマチュア無線技士
 Amateur First-Class Radio Operator

免許の番号
 Licence No.: IBNH00021
 年の年月日
 Date of licence grant: 平成27年 9月25日
 25 Sep. 2015
 名
 Name: 湯浅 涼
 Ryo Yuasa
 年月日
 Date of birth: 昭和13年 6月19日
 19 Jun. 1938

上記の者は、無線従事者規則により、上記資格の免許を与えたものであることを証明する。

付年月日
 Date of issue: 平成27年 9月25日
 25 Sep. 2015

総務大臣



図3

『東北大医学耳鼻咽喉科同窓会誌 平成27年度から抜粋』

第30回日本医学会総会2019 中部 記念局

8J2M, 8J9M, 8J0Mの移動局3局を開設します。

免許期間は、平成31年2月1日～平成31年4月30日

1.9MHz帯～430MHz帯、空中線電力50W以下

ご自宅からもしくは移動での記念局の運用をご希望の会員で、未だ記念局のオペレーターとして登録されて無い方は、1月20日迄にJH3AEF局まで使用するリグ(50W以下の新スプリアス対応の技適機に限ります)のリグ名と技適番号及び無線従事者免許証番号を電子メール jaef.tojo@nifty.com にてご連絡ください。

なお、運用に際してはメーリングリストに加入していただく必要がございますので、メーリングリスト未加入の方は jh3tcc@jarl.com までご申請ください。

庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きは**MARS事務局**へ。

〒596-0821 大阪府岸和田市小松里 928-1

久米田外科整形外科病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 072-443-1891(呼び出し)

F A X 072-443-2238

E-mail jf3mtm_1004@yahoo.co.jp

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、E-mail または USB メモリーもしくは CD-R の郵送でお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただきます。

編集後記

平成最後の3か月間、医学会総会記念局の8J2M、8J9M、8J0Mの3局を運用できるようになりました。

免許が下りるようにご尽力いただきました各局に感謝申し上げますとともに、3局の運用をサポートして下さる皆様にも感謝を申し上げます。可能な限り多くの局との交信をさせていただきたいと思えます。

MARS に入っていて本当に良かったなあと思う瞬間でもあります。せっかくの記念局です。皆様も3か月間せいぜいお楽しみください。

DE JF3JON

日本医師アマチュア無線連盟会報 (第78号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成30年12月25日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel 073-425-1341 Fax 073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail info@nishioka.co.jp